

※本プレスリリースは、2016 年 5 月 9 日にスイスで発表された資料の抄訳です。

## 高速なリアルタイム測位と多様なデザインをサポートする新世代の自動車用推測航法



スイスの u-blox AG（日本法人：ユーブロックスジャパン株式会社、東京港区、代表 仲 哲周）は本日、3D 自動車用推測航法（ADR）GNSS モジュール/チップの第 4 世代のファームウェアをリリースしました。

既存ファームウェアでは、車載ナビゲーション、インフォテインメント・システム、テレマティクス・ユニット、車両運行管理など、初期搭載にもアフターマーケットの車両アプリケーションにも最適化されており、ファームウェアアップグレード後の GNSS レシーバーでは、それに加えてリアルタイムの連続ナビゲーション出力を提供できるようになりました。20Hz の更新レートにより、インタラクティブ型ヘッドアップ・ディスプレイなどのアプリケーションの遅延の改善が期待できます。また、新しいファームウェアは、GPS、GLONASS、Beidou、QZSS、SBAS に加えて Galileo にも対応し、Galileo を利用する eCall(\*)をサポートします。

\*eCall とは：2018 年から新車への搭載が義務づけられる、欧州の緊急通報システムのこと。

推測航法（DR）性能の強化により、衛星からの信号がビルにブロックされたり、反射したりする都市環境でのナビゲーション性能が特に向上します。u-blox M8 の高性能同時受信測位エンジンと最新の u-blox 3D ADR 技術の融合により、100%のカバレッジと連続的な 3D 測位が実現します。

新しいファームウェアは u-blox NEO-M8L モジュールで提供され、105°Cまでの動作温度をサポートする新しい自動車向けグレード製品を含む UBX-M8030-Kx-DR 推測航法チップに利用できます。

詳細については以下ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.u-blox.com/ja/dead-reckoning>

### ユーブロックスについて

スイスのユーブロックス社(SIX:UBXN)は、民生、産業および自動車市場向けにワイヤレスと測位用半導体を提供するグローバルリーダーです。ユーブロックスのソリューションにより、人、自動車や機械等がそれぞれの位置を正確に決定し、さらにセルラーおよび近距離ネットワークでワイヤレス通信を行うことができます。ユーブロックスはチップ、モジュール、ソフトウェアの各ソリューションを多種用意して独自の地位を占め、OEM

メーカーの皆様が IoT の革新的なソリューションを迅速かつ廉価に開発するためのお手伝いをしています。ユーブックスはスイスのタルウィルに本社を置き、世界の各地、特に欧州、アジア、米国に多くのオフィスを構えています。詳細については [www.u-blox.com/ja/](http://www.u-blox.com/ja/)をご覧ください。

最新情報は、[LinkedIn](#)、[Twitter](#) : [@ublox](#)、[YouTube](#)、[Facebook](#)、[Google+](#)でもご覧いただけます。

### **本件に関するお問い合わせ先**

ユーブックス ジャパン株式会社  
カントリー・マネージャー  
仲 哲周  
Email [tesshu.naka@u-blox.com](mailto:tesshu.naka@u-blox.com)

ユーブックス ジャパン広報代理  
ホフマン ジャパン株式会社  
タレイ 恵望  
TEL: 03-5159-5750  
Email: [mtalay@hoffman.com](mailto:mtalay@hoffman.com)